

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
高知情報ビジネス&フード専門学校	昭和61年1月28日	校長 中西康廣	〒780-0056 高知市 北本町 1-12-6 (電話) 088-825-0077																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人龍馬学園	平成1年3月23日	理事長 佐竹新市	〒780-0056 高知市 北本町 1-12-6 (電話) 088-825-0077																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士 高度専門士																				
商業実務	商業実務関係 専門課程	ショップ・ブライダル学科	平成二十二年 文部科学省告示 第三十一号																				
学科の目的	接客業に必要な知識を学ぶと同時に、インターンシップ実習やアンテナショップ運営などを体験し、顧客視点のサービスを考え実践できる即戦力の人材を育成する。将来は、ホテルブライダル業、ショップスタッフ・営業など、様々な接客サービス業での即戦力となりうる人材を育成する。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	講義	演習																				
	1779時間	268時間	36時間																				
	昼間																						
			1475時間																				
			0時間																				
			0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数																				
60人	28人	0人	2人																				
			兼任教員数																				
			7人																				
			総教員数																				
			9人																				
学期制度	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A・B・C・Dの4段階 ・期末テスト 出席率 課題提出状況等による																				
長期休み	■学年始: 4月6日 ■夏季: 7月19日~8月31日 ■冬季: 12月17日~1月5日 ■学年末: 3月16日	卒業・進級条件	・卒業基準検定の取得 ・年次出席率80%以上 ・科目ごとの総合評価が全てC以上 ・学費及び補助活動費が納入済み																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 カウンセリング・個人面談・三者面談	課外活動	■課外活動の種類 ボランティア・近隣清掃 ■サークル活動: 無																				
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) アパレル業界・ブライダル企業・ホテル業界 ■就職指導内容 面接・作文・筆記試験・履歴書指導 ■卒業生数 : 13 人 ■就職希望者数 : 13 人 ■就職者数 : 13 人 ■就職率 : 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日時点の情報)	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アシスタントブライダルコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>リテールマーケティング検定2級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>手話検定4級</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	資格・検定名	種	受験者数	合格者数	アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	7人	7人	リテールマーケティング検定2級	③	6人	4人	手話検定4級	③	9人	8人				
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	7人	7人																				
リテールマーケティング検定2級	③	6人	4人																				
手話検定4級	③	9人	8人																				
			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																				
中途退学の現状	■中途退学者 2 名 平成28年4月1日時点において、在学者 2 名 (平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者 2 名 (平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的問題・体調不調 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・面談・カウンセリング・遅刻管理・欠席管理・学生アンケート	■中退率 7.1 %																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 龍馬学園奨学金制度、兄弟姉妹割引制度、資格・検定等特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																						
当該学科のホームページURL	http://www.rvoma.ac.jp/kcc/shopbridal.htm																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいいます。調査時点における就職者数を就職希望者から除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学卒業後速やかに就職することを希望する者をいいます。卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留学」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他通常の収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱います)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係																																			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 ショップ・ブライダル学科では、時代に適応したサービス・接客能力のエキスパートを養成することを教育目的としており、企業関係団体及び商業関連企業の役職者等を教育課程編成委員会委員に選任し、業界の専門性の動向、新たなサービス・接客動向に関する知識・技術について、関係者からの意見等を十分に反映して、より実践的な授業科目、授業の内容・方法の改善を図っていく方針である。																																			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。																																			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成29年7月31日現在																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊藤 武史</td> <td>高知黒汐会</td> <td>平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>野本 孝志</td> <td>株式会社日産サティオ高知</td> <td>平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>中西 康廣</td> <td>学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校</td> <td>平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>中川 隆</td> <td>学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校</td> <td>平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>尾川 哲英</td> <td>学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校</td> <td>平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>西成 和広</td> <td>学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校</td> <td>平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>鳴瀧 学志</td> <td>学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校</td> <td>平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table>				名前	所属	任期	種別	伊藤 武史	高知黒汐会	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	①	野本 孝志	株式会社日産サティオ高知	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③	中西 康廣	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③	中川 隆	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③	尾川 哲英	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③	西成 和広	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③	鳴瀧 学志	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③
名前	所属	任期	種別																																
伊藤 武史	高知黒汐会	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	①																																
野本 孝志	株式会社日産サティオ高知	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③																																
中西 康廣	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③																																
中川 隆	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③																																
尾川 哲英	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③																																
西成 和広	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③																																
鳴瀧 学志	学校法人 龍馬学園 高知情報ビジネス&フード専門学校	平成29年7月1日～平成31年8月31日(2年)	③																																
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員																																			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 (開催日時) 第1回 平成28年7月29日 17:30～18:20 第2回 平成29年1月30日 17:30～18:20																																			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 就職活動でビジネス実務の内容を活かすためには時間数が少ないとの意見を頂き、カリキュラムを見直して、敬語の使い方や立ち居振る舞い、電話応対などに特に力を入れ、時間数を増やした。																																			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係																																			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 最近の技術動向を踏まえ、現場に必要な知識・技術を具体的に身に付けさせるため、企業へのヒアリング等を通じて重要項目や課題を抽出し、その結果にもとづいた解決・改善内容を実習や演習内容に反映できるよう企業と連携しながら計画を進める。また実習・演習等の実施後には企業及び学生からの報告を元に、その効果を検証しながら改善・改良を図る。																																			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 連携先企業等の担当者や学校担当者間で、授業形態やシラバスの確認を行い、また評価項目に関しては、その内容とレベルを協議し確認している。実習・演習等の期間中はどのような指導を学生が受け、どのように向上したのかを企業等の担当者から適宜、具体的な報告を受けている。また、その実効性について企業側と学校側とで具体的な検討ができるよう体制を敷いている。																																			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な科目について記載。																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インターンシップ</td> <td>志望職種に合わせた職業体験をすることで、職業観・勤労観を養う。</td> <td>㈱轟組サンピア事業部 旭食品(株)カリヨン高知 (有)リパブリック ㈱ブライダルミナトヤ ラ・ヴィータ ザ・クラウンパレス新阪急 ウェディングプランナーりぼん</td> </tr> <tr> <td>フラワーアレンジメントⅠ</td> <td>フラワーアレンジメントの基礎知識・技術を学び実習にて作品を製作する。企業と連携しより実践的なフラワーアレンジメントの実習を行う。</td> <td>花工房 四季</td> </tr> <tr> <td>フラワーアレンジメントⅡ</td> <td>商業施設・イベント会場等のフラワーアレンジメントの知識・技術を学び実習にて作品を製作する。企業と連携し即戦力になりうるフラワーアレンジメントスキル取得の為の実習を行う。</td> <td>花工房 四季</td> </tr> <tr> <td>イベントプランニング</td> <td>テーマに合わせた企画立案を行うことで、思考力を身に付ける。目的や様々な要素を取り入れ、盛り込みながらお客さまの行動を考察する力や気付き、発想力を養う。企業と連携しより実践的なイベントプランの実習を行う。</td> <td>和田企画事務所</td> </tr> <tr> <td>ブライダル実習</td> <td>実際の挙式をプロデュース・実践する。企業と連携し「特別授業」を行う。「ブライダルショー」の企画立案から運営を行い学習成果として発表する。企業と連携し専門業界での即戦力になりうるスキル取得の為の実習をおこなう。</td> <td>ひよしや ウェディングプランナーりぼん レ・ブリュ ㈱ブライダルミナトヤ</td> </tr> </tbody> </table>				科目名	科目概要	連携企業等	インターンシップ	志望職種に合わせた職業体験をすることで、職業観・勤労観を養う。	㈱轟組サンピア事業部 旭食品(株)カリヨン高知 (有)リパブリック ㈱ブライダルミナトヤ ラ・ヴィータ ザ・クラウンパレス新阪急 ウェディングプランナーりぼん	フラワーアレンジメントⅠ	フラワーアレンジメントの基礎知識・技術を学び実習にて作品を製作する。企業と連携しより実践的なフラワーアレンジメントの実習を行う。	花工房 四季	フラワーアレンジメントⅡ	商業施設・イベント会場等のフラワーアレンジメントの知識・技術を学び実習にて作品を製作する。企業と連携し即戦力になりうるフラワーアレンジメントスキル取得の為の実習を行う。	花工房 四季	イベントプランニング	テーマに合わせた企画立案を行うことで、思考力を身に付ける。目的や様々な要素を取り入れ、盛り込みながらお客さまの行動を考察する力や気付き、発想力を養う。企業と連携しより実践的なイベントプランの実習を行う。	和田企画事務所	ブライダル実習	実際の挙式をプロデュース・実践する。企業と連携し「特別授業」を行う。「ブライダルショー」の企画立案から運営を行い学習成果として発表する。企業と連携し専門業界での即戦力になりうるスキル取得の為の実習をおこなう。	ひよしや ウェディングプランナーりぼん レ・ブリュ ㈱ブライダルミナトヤ														
科目名	科目概要	連携企業等																																	
インターンシップ	志望職種に合わせた職業体験をすることで、職業観・勤労観を養う。	㈱轟組サンピア事業部 旭食品(株)カリヨン高知 (有)リパブリック ㈱ブライダルミナトヤ ラ・ヴィータ ザ・クラウンパレス新阪急 ウェディングプランナーりぼん																																	
フラワーアレンジメントⅠ	フラワーアレンジメントの基礎知識・技術を学び実習にて作品を製作する。企業と連携しより実践的なフラワーアレンジメントの実習を行う。	花工房 四季																																	
フラワーアレンジメントⅡ	商業施設・イベント会場等のフラワーアレンジメントの知識・技術を学び実習にて作品を製作する。企業と連携し即戦力になりうるフラワーアレンジメントスキル取得の為の実習を行う。	花工房 四季																																	
イベントプランニング	テーマに合わせた企画立案を行うことで、思考力を身に付ける。目的や様々な要素を取り入れ、盛り込みながらお客さまの行動を考察する力や気付き、発想力を養う。企業と連携しより実践的なイベントプランの実習を行う。	和田企画事務所																																	
ブライダル実習	実際の挙式をプロデュース・実践する。企業と連携し「特別授業」を行う。「ブライダルショー」の企画立案から運営を行い学習成果として発表する。企業と連携し専門業界での即戦力になりうるスキル取得の為の実習をおこなう。	ひよしや ウェディングプランナーりぼん レ・ブリュ ㈱ブライダルミナトヤ																																	
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係																																			
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 当校が実施する研修は、①新任者研修、②管理職研修、③養成研修に分けて行われており、県内外の各科に関わる業界関係団体や、教育関係団体が主催する研修などに積極的に参加させている。研修等の参加に当たっては、校長又は部門の長が本人のキャリアや適性、意欲等を考慮し、また学校全体の状況等も踏まえ、戦略的に研修を計画している。																																			

(2) 研修等の実績
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 ゼクシブライダルセミナー
 (トレンド調査、組織と人材、スマホ世代とクチコミ対応について)
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 授業改善研修

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 ブライダルトップセミナー
 (衣装、美容、花、接客テクニクなどブライダルに関する基礎講座)
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 生活指導研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 当校では「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき自己点検評価を行っており、作成した資料を元に学校関係者に意見を聞き、教育活動の改善に努めていく方針である。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2) 学校運営	管理運営
(3) 教育活動	教育の内容
(4) 学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	学生支援
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	改革・改善
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。
 (3) 学校関係者評価結果の活用状況
 SNS等を通じ学校情報の更なる発信を勧められ、改善に活かした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
加藤 稔	高知県情報産業協会	平成27年10月1日～平成29年9月30日(2年)	業界関係者
辻 永晃	高知県製パン協同組合	平成27年10月1日～平成29年9月30日(2年)	業界関係者
宮地 貴嗣	宮地電機株式会社	平成27年10月1日～平成29年9月30日(2年)	企業関係者
長崎 満	高知高等学院	平成27年10月1日～平成29年9月30日(2年)	教育関係有識者
安井 裕治	南放セーラー広告株式会社	平成27年10月1日～平成29年9月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()
 URL: <http://www.ryoma.ac.jp/info/kcc-0001.pdf>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
 企業等と密接かつ組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を学生に提供することを目的として、企業等の学校関係者に対して、学校の教育活動、その他学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校紹介
(2) 各学科等の教育	設置学科
(3) 教職員	教員名簿
(4) キャリア教育・実践的職業教育	実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	キャンパスライフ
(6) 学生の生活支援	募集要項
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項
(8) 学校の財務	財務情報
(9) 学校評価	学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。
 (3) 情報提供方法
 URL: <http://www.ryoma.ac.jp/kcc/>

授業科目等の概要

(商業実務関係専門課程会計ビジネス学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			販売士 I	小売業の仕組みや役割、ストアオペレーションやマーチャンダイジング、販売・経営管理の基礎知識を学び、3級の検定取得	1前	160		○	△		○		○		
○			英会話 I	各レッスンで学習するレッスンシーンの説明と、基本の会話の流れを紹介し、その中で入れ替えて使える単語や、フレーズ、発音やアクセントについて触れる。	1通	42		○		△	○				○
○			色彩学	色のはたらきや分類、心理的効果や配色調和などの基礎知識を体系的に学び、色彩検定3級取得を目指す。	1通	66		○	△	△	○				○
○			マーケティング	人間の行動心理を考察しながら、顧客心理を意識した提案の仕方やその考え方を学ぶ。	1通	66		△		○	○				○
○			イラストレーター	イラストレーターのソフトを使ったPC技術を身に付け、オリジナルのポスター製作を行う。	1後	46		△		○	○				○
○			パソコン実習 I	Word2010ソフトの基礎知識と技術を学び、文書作成が出来るようにする。ワードプロセッサ3級検定取得を目指す。	1通	48		△		○	○				○
○			業界研究	志望する業界・企業の検索を行い、職業に就いての理解を深め、就職活動に活用する。	1後	24		△		○	○			○	
○			ショップ・ブライダル基礎	ショップ販売・ブライダル業に関する基礎知識を学ぶ。主に商品知識、ラッピング技術、ディスプレイを行いながらサービスマインドを養う。	1後	175		△		○	○			○	
○			インターンシップ	志望職種に合わせた職業体験をすることで、職業観・勤労観を養う。	1後	117				○		○		○	○
○			ビジネス実務 I	就職に向けた意識付け、自己分析、自己PRを考え準備をする。ビジネスシーンに必要な基本マナーを体得する。	1通	83		△		○	○			○	

○		一般常識 I	就職試験を意識した一般常識の基礎力を身に付ける。	1 後	24		△	○	○	○	○				
○		手話 I	聴覚障害者とのコミュニケーションツールである手話の基礎を学ぶ。手話の実習を通して健常者とのコミュニケーションの重要性への気付きを持たせる。企業と連携し最新の手話の技法を実習にて学ぶ。	1 通	48		△	○	○			○	○		
○		フ ラ ワ ー ア レ ン ジ ム ン ト I	フラワーアレンジメントの基礎知識・技術を学び実習にて作品を製作する。企業と連携しより実践的なフラワーアレンジメントの実習をおこなう。	1 通	14		△	○	○			○	○		
	○	ブライダル実 習	実際の挙式をプロデュース・実践する。企業と連携し「特別授業」を行う。「ブライダルショー」の企画立案から運営を行い学習成果として発表する。企業と連携し専門業界での即戦力になりうるスキル取得の為の実習を行う。	2 通	483		△	○	○			○	○		
	○	販売士 II	この学習を通じて、商品・仕入・在庫管理や接客マナーに関する知識、マーケティングや人事・労務を含む経営管理手法など、多方面にわたる実践的なビジネスのノウハウを学ぶ。	2 通	483		○	△	○			○	○		
○		英会話 II	シンプルな基本の会話例を使って、スムーズに言えるようにする。その他、日本語と英語の表現の違いや、文化の違いについても学習する。	2 通	54		△	○	○					○	
○		プレゼンテー ション	パワーポイントを使ったプレゼンの作品製作。分かりやすく、好感を持たれるプレゼンテーションの手法を考え、表現力を身に付ける。	2 前	24		△	○	○			○			
○		手話 II	手話 I で学んだ基礎技術を踏まえより実践的な実習をおこなう。手話を通してコミュニケーション力を養う。企業と連携しより実践的な手話の実習を行う。	2 通	56		△	○	○			○	○		
○		イ ベ ン ト プ ラ ン ニ ン グ	テーマに合わせた企画立案を行うことで、思考力を身に付ける。目的や様々な要素を取り入れ、盛り込みながらお客さまの行動を考察する力や気付き、発想力を養う。企業と連携しより実践的なイベントプランの実習を行う。	2 通	52		△	○	○			○	○		
○		色彩学応用	パーソナルカラー分析の基礎知識を学ぶ。企業と連携しより実践的なパーソナルカラーの実習を行う。	2 通	56		△	○	○			○			
○		パ ソ コ ン 実 習 II	Excel表計算の基礎知識を学び、3級の検定取得を目指す。企業と連携しより実践的なパソコン操作の実習を行う。	2 通	54		△	○	○			○			

○		フ ラ ワ ー ア レ ン ジ メ ン ト Ⅱ	商業施設・イベント会場等のフラワーアレンジメントの知識・技術を学び実習にて作品を製作する。企業と連携し即戦力になりうるフラワーアレンジメントスキル取得の為を目指す。	2 通	12		△	△	○	○				○	○	
○		ビ ジ ネ ス 実 務 Ⅱ	前期は、ビジネス能力検定ジョブパス3級の取得を目指す。 後期は、社会人を意識したビジネスシーンでの具体的な接遇を体得する。	2 通	63		△	△	○	○				○		
○		一 般 常 識 Ⅱ	就職試験を意識した一般常識の基礎力をさらに身に付ける。	2 前	12		△	○		○			○			
合計				23科目			1779単位時間()									単位)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
科目ごとの総合評価が全てC以上 全科目を履修すること		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。